

あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '90 2月号

「縄文土器」作品展

寄贈品コーナー・会期：1月17日～2月27日

体験学習って何だろう？
—土器づくりに参加して—



—縄文人だって作れたのだから私にも出来るという軽い気持でしたが、土をこね形をつくっていくうちに、私は自分の軽薄さを恥りました。頭で考えたものに形を与え、まだ世の中にはないものを創り出す苦労や、用に耐える土器が出来上がるまでの苦心や試行錯誤にまで、思いが至りませんでした。—長い時間を経て、工夫し技術をみがきかさねた縄文人の知恵の重みと素晴しさに驚ろきました。お影で今までの考え方、とりわけ道具の見方を変える1つの原点に立てたように思います。

—縄文の人たちも私たちのように、煙にむせび顔をほてらせて、生活用品や恋人への贈りものを作ったにちがいないと思いました—以上は、土器づくりに参加した方達のお話からひいたものです。

“百聞は1見にしかず”は、たとえ1目でも見ることの方が、百聞くよりもわかるの諺です。

このお話を伺ったあとでは、見るだけより、手足を動かし実際にやってみることの方が、更によくわかる、というか、わかる質が違うと言った方がいいでしょうか。世の中には、見ればわかるものがある。と同時にやってみなくてはわからないものも、沢山あるんですね。縄文人をうちのお隣りに住む人のように想いやれる気持は、凄いと思います。土器をつくるという体験が、この間にある筈だった1万年という才月を、飛び越えさせたのです。感激しました。

開講時からお世話を明石学芸員によると同じものを見て作ったのに、どの作品にも、その人の人柄や性格がにじみ出ているそうです。作業工程はパネル写真で展示しています。どうぞ、見に来てください。

調査協力者募集！ 「環境庁／身近な生き物調査」

環境庁では自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査）の一つとして、市民参加による身近な動植物の分布調査を行います。博物館では、この調査に協力し、グループとして平塚付近の調査を行いますので、ボランティアとして協力して下さる方を募集します。なお、すでに個人として環境庁に申し込まれた方もぜひ御連絡下さい。

内容：タンポポ、ツバメなど身近な動植物約40種類が、どこに分布しているか記録する。

調べる場所：自宅付近など希望の場所を選び、参加者で市内を分担する。

日程：4月／打ち合せ、5～9月／各自で分担した地域を調査、博物館では観察会も開催、
10月／まとめ。

申し込み：2月末日までにハガキで博物館へ。詳しい案内をさしあげます。

●前回の調査では・・

この調査は、1984年に第1回が行われ、今
回は2回目になります。この時にも博物館ではグ
ループで参加し、90名の方に協力して頂いて、
平塚・大磯・二宮の広い範囲の調査を行うことが
できました。

金目でゲンジボタルが記録されたり、ノウサギ
が大磯などにいることが分かったり、いろいろな
成果もありました。その結果は報告書と「自然と
文化」のレポートにまとめられています。

平塚での調査は、全国的にも一番くわしいもの
の一つになり、環境庁のまとめの本でも、特に取
り上げて紹介されました。

ゼミ・アオマツムシ・マツムシの5種類

・秋の花コース／ミズヒキ・カラスクリ・セイタ
カアワダチソウ・オミナエシ・ヒガンバナの
5種類

・タンポポコース／シロバナタンポポ・在来タン
ポポ・セイヨウタンポポ・アカミタンポポの
4種類

・ツバメコース／ツバメ・コシアカツバメ・イワ
ツバメの3種類

・水辺の動物コース／コサギ・カワセミ・ゲンジ
ボタル・ヘイケボタル・サワガニの4種類

・淡水魚コース／ウナギ・ウグイ・オオクチバス
・ヨシノボリの4種類

●どんなことを調べるの？

今回の調査は9つのコースに分かれており、自
分の興味のある動植物を選ぶことができます。そ
れぞの動植物が、どこに見られたかを、配布さ
れる地図と記録用紙に従って記録するわけです。

・春の花コース／スギナ・ニリンソウ・キブシ・
オオイヌノフグリ・カタクリの5種類

・鳥の声コース／カッコウ・アオバズク・ヒバリ
オオヨシキリの4種類

・夏の虫コース／ギンヤンマ・オニヤンマ・アオ
スジアゲハ・オオムラサキ・カブトムシの5
種類

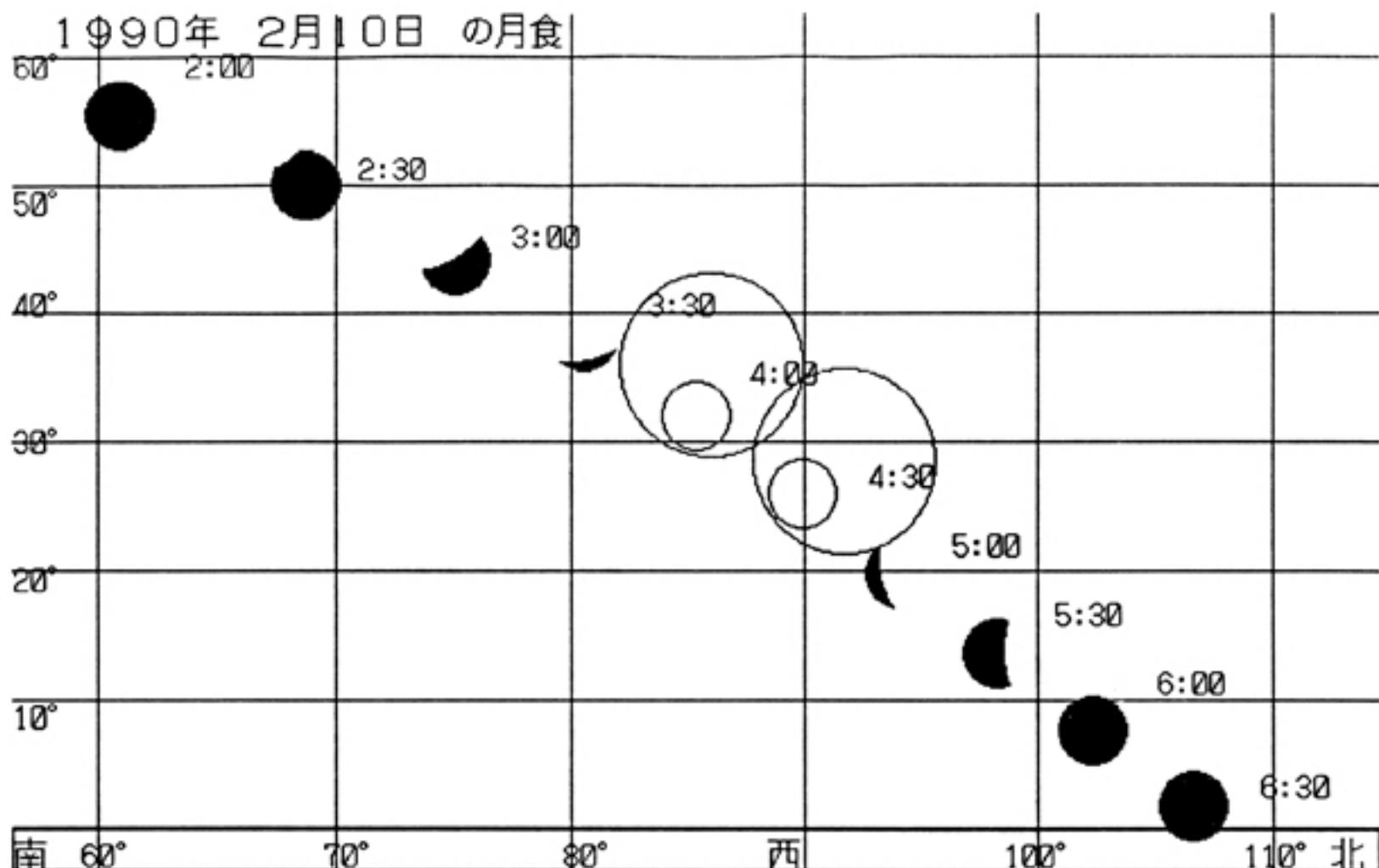
・虫の声コース／クマゼミ・ヒグラシ・ミンミン

●みんなでまちの自然を調べよう！

テーマになった生き物を探して、まちを歩いて
いると、ふだん歩きなれたはずの道でもいろいろ
な新しい発見があります。いろいろな生き物に
出会いに出かけてみましょう。

まちの中から緑がどんどん消えていくこの頃で
すが、みんながまちの自然に関心を持たなければ
タンポポもホタルもサワガニもいつのまにか、い
なくなってしまうでしょう。まちの自然を守る第
一步としても、ぜひ協力を願いします。（浜口）

1990年2月10日の月食



●2月10日の皆既月食

2月10日の夜明け前に皆既月食が見られます。9日の晩、夜半を過ぎて、深夜2時29分ころから欠け始め、3時49分ころには、月全体が地球のつくる影にすっぽりはいって皆既食となります。食がいちばん深くなるのは4時11分ころ。赤い不思議な色の月が西の空に浮かんで見えるでしょう。4時32分ころになると月の左側が明るくなり、5時53分ころには見た目には満月の状態にもどります。平塚では西の地平線近くです。空はすでに明るくなっています。（沢村）



●1990年の主な天文現象

1月 4日 りゅう座流星群の極大

2月 10日 皆既月食（次回は'93年6月4日です）

2月 22日 金星の最大光度

3月 30日 プレアデス星団（スバル）の食

4月 中旬 水星の観察好期（夕方）

5月 12日 冥王星の衝

6月 30日 天王星の衝

7月 15日 土星の衝

7月 22日 部分日食

7月 26日 みずがめ座流星群の極大

8月 6日 部分月食

8月 13日 ベルセウス座流星群の極大

9月 30日 変光星ミラの極大

10月 2日 仲秋の名月

10月 22日 アンタレスの食

11月 20日 火星中接近（距離7,733万km）

前回より2,000万km遠い

12月 13日 ふたご座流星群の極大

2月

3	土	体験学習"星座早見を作ろう"
10	土	古文書講読会／石仏を調べる会／土曜観察会(新聞作り)／ナチュラリスト講座
17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
24	土	古文書講読会／土曜観察会
25	日	相模川を歩く会

・寄贈品コーナー

縄文土器作品展：2月27日まで

・プラネタリウム

木星にせまる：1月13日～3月4日

3月

4	日	自然観察会 "真鶴のクスノキ林"
10	土	古文書講読会／土曜観察会／石仏を調べる会／ナチュラリスト講座
16	金	星を見る会 "木星を見よう"
17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
24	土	古文書講読会／土曜観察会 "自然の新聞作り"／石仏を調べる会
25	日	相模川を歩く会

・特別展 "相模川を歩く"

3月17日～4月22日

・プラネタリウム：ニュートリノが知っている

3月10日～



行事案内



●移動博物館のお知らせ

博物館で集めた資料や、調査し研究した成果を展示し、皆さんからの質問にもお答えいたします。

星を見る会：大野公民館で2月1日(木)

神田公民館は2月6日(火)

いずれも18～20時まで。

平塚の野鳥展：大野公民館で3月3日～4日

平塚の遺跡展：松ヶ丘公民館で3月3日～4日



●3月自然観察会

「真鶴のクスノキ林を訪ねる」

日：3月4日(日) 雨天中止

時間：午前8時～午後4時

場所：真鶴半島

内容：神奈川県のクスノキ林を訪ね、春を迎える動植物を観察する。

申し込み：2月22日までに往復ハガキで。希望者多数の場合は抽選で30名。

●星を見る会「木星を見よう」

最もめだつ表面もようのひとつだった南赤道縞が昨年来淡化しています。今までとは「変わった」木星の姿を、四大衛星とともに眺めましょう。

日時：3月16日(金) 18時～20時

場所：博物館科学教室・屋上

※参加自由。